

健康推進部長目標

健康推進部長 須田 浩美(すだ ひろみ)



健康推進部の仕事

健康推進部は、地域保健医療や保健衛生、国民健康保険や後期高齢者医療保険に関する事務を所管しています。保健医療課、国民健康保険課、保健センター内の健康管理課、健康づくり支援課の4課で構成され、保健医療計画の推進、国民健康保険等の給付、感染症対策、各種検診、予防接種、精神保健、母子・成人保健に関する事等を主な仕事にしています。

健康推進部の令和2年度の目標

所沢市保健医療計画に基づき、市民の健康保持・増進、医療提供体制の充実に取り組みます。また新型コロナウイルス感染症対策を庁内連携を図りながら迅速に実行していきます。さらに、「健幸長寿のまち」の実現に向けて、産学医など、関係機関・団体等と連携しながら保健医療施策を進めるとともに、地域の健康課題を明らかにして地区担当制による地区活動を軸とした健康増進事業を推進します。国民健康保険では、生活習慣病予防や重症化予防等を図るための保健事業を推進しながら、医療費の適正化に取り組むことにより赤字解消を目指し、健全で安定的な制度の運営に努めます。

目標達成に向けた重点事業

	事業項目	事業の概要	事業の目標	年度末の目標達成度合
1	新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染拡大防止・収束のために、関係部署・団体と情報共有・連携しながら対策を行います。	市民への正確かつ迅速な情報発信を行うことで、市民の冷静な行動を促すとともに、新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催により、情報共有と各部と連携した対策を実施します。	市の対策本部会議を計38回開催し、市の取り組みについて協議決定、情報共有を行いました。市民に対しては、ホームページ、ほっとメール等により、感染者情報、感染予防対策、市長メッセージなどを発信しました。また、狭山保健所に保健師を派遣するため、県と協定を結び、保健師45名に県知事から併任辞令を受け、要請に応じて速やかに派遣を行いました。
2	第2次所沢市保健医療計画推進事業	「第2次所沢市保健医療計画(令和2年度～7年度)」の初年度にあたる令和2年度は、関係所属と連携して計画を推進していきます。	所沢市保健医療計画推進委員会の審議における意見を反映させながら、令和元年度の評価結果を年度末までに公表します。	市庁内推進会議を書面により2回開催しました。また外部委員による推進委員会を対面で2回、書面で1回、合計3回開催しました。なお、令和元年度の評価結果については、令和3年3月にホームページにて公表しました。

3	トコトコ健幸マイレージ事業	健康寿命の延伸を図るために、歩くことに主眼を置いた健康増進事業として、健康無関心層の参加を促すようポイント制を導入したマイレージ事業を県のマイレージ事業に参入する形で実施します。	埼玉県「コバトン健康マイレージ」に参入し、加えて本市独自のポイント対象事業及び市独自の景品を組み込み、名称も「トコトコ健幸マイレージ事業」として、より充実した事業を実施します。(令和2年7月開始:目標4,000人)	参加者の増加に向け、定期的に、ほっとメール、ツイッターによる周知や、新聞折り込み、ポスター掲示、保健師活動時の周知などの取り組みを行いました。その結果、年度末において参加者が6,374人となりました。
4	地区担当制による地区活動を軸とした健康増進事業の推進	市内各地区の健康課題を把握し、地区の特性に応じた効果的な健康づくりを推進します。	地区診断による地区健康課題に基づく「地区保健活動計画」を策定し、同計画により保健活動を実施、地区の特性に応じた効果的な健康づくりを推進します。	個別訪問で把握したコロナ禍の育児の悩みや高齢者の閉じこもりからのフレイルへの問題意識などを関係機関や自治会役員と共有し、地域ぐるみでの対応を図りました。また、地区での活動が難しい場合は、関係機関とのつながりを深めたり、有効な取り組み方を相談するなど現状に合わせた取り組みを実施しました。